

10月22日（火） 2024年度秋季Ⅰ部Ⅱ部入替戦第1回戦

【試合結果】

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
阪公大	2	0	0	4	0	2	2			10
大観大	0	0	1	0	0	0	0			1

大阪公立大学(3塁側)

対

大阪観光大学(1塁側)

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	中	根来	2	府立生野	5	3	0	
2	遊	疋田	3	広島新庄	4	1	0	
3	右	前田	2	須磨学園	4	2	1	
4	指	中村	4	市立西京	3	0	1	
5	左	林	1	大阪明星	3	3	6	
6	三	石守	3	札幌開成中等教育学校	5	1	0	
7	一	大西	3	長田	3	2	1	
8	二	樋口	3	刈谷	2	1	0	
9	捕	小田竜	3	県立伊丹	2	0	0	
投		片山	2	府立池田	-	-	-	
		山本	2	清教学園	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	4	8	3	1	2	31	13	9

【打者成績】

打順	守備	名前	学年	出身校	打数	安打数	打点	
1	右	重栖	3	立正大学淞南	3	0	0	
2	遊	田中	3	立正大学淞南	2	2	0	
3	二	京極	2	上宮	4	0	0	
4	三	福島	2	立正大学淞南	2	0	0	
5	指	榎本	1	神戸国際大学附属	3	0	0	
6	中	吉野	2	日本航空	3	0	0	
7	一	中島陸	3	綾羽	0	0	0	
8	捕	勝田	1	京都翔英	1	0	0	
	捕	橘	1	大阪偕星学園	1	0	0	
	打	米田	3	京都翔英	1	0	0	
	捕	宗根	3	汎愛	0	0	0	
9	左	立山	3	京都翔英	2	1	1	
投		平田	3	神戸国際大学附属	-	-	-	
		伊藤	2	上宮	-	-	-	
合計	三振	四死球	犠打・犠飛	併殺打	盗塁	打数	安打数	打点
	3	6	2	1	0	22	3	1

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
片山	5 2/3	88	25	17	2	2	6	1	0
山本	1 1/3	20	5	5	1	1	0	0	0
合計	7	108	30	22	3	3	6	1	0

【投手成績】

名前	回数	投球数	打者数	打数	被安打	奪三振	四死球	失点	自責点
平田	3 1/3	95	22	16	7	4	5	6	5
伊藤	3 2/3	68	20	15	6	0	3	4	2
合計	7	163	42	31	13	4	8	10	7

【戦評】

1部復帰を果たすため、絶対に落とせない大事な初戦。今春味わった悔しさをバネに一生懸命練習に励み、成長を続けてきました。4回生と共にプレーできる残り少ない時間を噛み締めながら、チーム一丸となり闘志満々で挑みました。

試合は初回から動きます。先頭の根来（経2・府立生野）がいきなりセンター前への安打で出塁し、ベンチが大盛り上がりを見せます。さらに、続く疋田（工3・広島新庄）がライト線への二塁打を打ち、無死二三塁のチャンス。ここから二死を奪われますが、今季絶好調の林（工1・大阪明星）が見事ライト線へボールを運び、根来と疋田が生還、春に悔しさを味わった相手から先制点を奪い取ります。

まだまだ勢いが止まらない攻撃は2回表、先頭の大西（法3・長田）が四球を選ぶと、続く樋口（工3・刈谷）が見事犠打を決めます。さらに根来が2本目となる安打を打ち、すぐさま盗塁を決めますが、その後あと一本が出ず無得点に終わります。しかし、攻めの姿勢全開で相手に流れを渡しません。

一方先発の片山（生2・府立池田）は1回裏、先頭打者にいきなり四球を与えると、続く打者に犠打を決められ得点圏に走者を背負います。しかし、次打者を外野フライに打ち取ると、タッチアップを狙った二塁走者を根来と疋田の見事な連携プレーで三塁タッチアウトとし、3人で守備を終えます。

さらに2回裏には、わずか9球で三者凡退に抑えます。

3回表、先頭の前田（現2・須磨学園）が三塁打を放つと、林が四球を選んだ後盗塁を決め、一死二三塁のチャンスを作ります。しかし、後続を抑えられ得点とはなりません。

3回裏、片山は先頭打者に四球を与えると、捕逸の間に一気に三塁まで進塁を許します。その後適時打を浴び1点を返されますが、さらなる追加点は許さず最少失点で切り抜けます。

取られた点をすぐさま取り返したい攻撃は4回表、試合が大きく動きます。先頭の樋口が安打で出塁すると、続く小田竜（工3・県立伊丹）が四球を選び無死一二塁とします。その後一死を奪われますが、暴投と疋田の四球で一死満塁のチャンスを作ると、前田がライト前へ適時打を打ち1点を追加します。さらに、中村（文4・市立西京）と林の連続四球による押し出しに捕逸も絡み、この回4点を追加、大きく点差を広げます。

5回表、先頭の大西が安打を打ち塁に出ると、樋口がまたしても初球で犠打を決め一死二塁とします。続く小田竜が四球を選びますが、後が続かず得点へと繋げることができません。

5回裏、片山は2つの四球と味方の失策で二死満塁のピンチを背負います。しかし、大西の好守により後を打ち取り、無失点とします。

6回表、先頭の前田が四球を選ぶと、中村の犠打で一死二塁とします。ここで林が2本目となる適時打を打ち、1点を追加します。さらに石守（経3・札幌開成中等教育学校）も安打で続くと、大西がスクイズを狙った当たりはまさかの犠安となり、もう1点を奪います。

6回裏、ここまで相手打線を抑えてきた片山ですが、制球が定まらず先頭打者に死球を与えます。その後二死まで追い込みますが、またしても死球を与えたところで降板、後を山本（文2・清教学園）に託します。山本は見事三球三振を奪い取り、得点を与えません。

7回表、先頭の根来が3本目の安打となる二塁打を打ち、出塁します。ここまで全イニング先頭打者が出塁を果たし、攻撃の手を全く緩めません。無死二塁のチャンスを作ってから二死を奪われますが、中村の放った内野ゴロが相手の失策を誘い出し、二死一三塁とします。続いて打席に立ったのは、すでに2本の適時打を放っている林。勢いそのままに今度はレフトの頭上を大きく超える適時三塁打を打ち2点を追加、点差はさらに広がります。

7回裏、山本は持ち味の变化球でテンポ良く二死を奪います。そこから三塁打を放たれますが、最後は樋口の好守によりコールドで試合終了。10-1で勝利いたしました。